

日時 平成 24 年 5 月 22 日 (火) 18:00 ~ 19:00

場所 福島県立医科大学 11 号館 (臨床講義棟) 第二臨床講義室

## 演題

# これからの福島の小児がん医療

## 小児がんの未来を考える

### —今後の方向性と福島医大の新しい取り組み—

講師 福島県立医科大学附属病院臨床腫瘍センター

次長 菊田 敦先生

#### ●講演内容●

多くの小児がんが治る時代となりましたが、治療を終了した小児がん経験者には新しい問題が出現してきています。がんは治ったとしても治療により既に生じた、あるいは今後生じる可能性のある晩期合併症と長期にわたり付き合っていかなければなりません。自立していない小児にとってこれはかなり大変なことであり、これに対応するためには新しいシステムの構築が必要です。がん対策基本計画の見直しが行われ本年度から、小児がん拠点病院の設置と適正な集約化、小児がん長期フォローアップシステムの構築、どこでも My 病院、シームレスな医療連携構想などの将来計画が国により打ち出されています。セミナーでは小児がんの今後の方向性と難治性小児がんに対する福島医大の新しい取り組みについてもお話しする予定です。

#### ●講師紹介●

福島県立医科大学病院教授、臨床腫瘍センター小児腫瘍部門長。

日本小児科学会日本血液学会認定医・指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、骨髄採取認定施設責任者。またパンダハウスを育てる会(福島医大患者・家族宿泊施設)のアドバイザー、光の子を守る会(福島医大小児がん親の会)の顧問を務めている。

#### お問い合わせ先

福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター

がんプロフェッショナル養成支援室

電話 024-547-1410 (内線5660)

メール yamadaa@fmu.ac.jp

● がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます

● 本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成プラン」事業の一環となっております

● 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します